

1. 基本情報

評価対象年度 (令和2 年度)

施策コード	214		施策名	社会保険の安定的運営
将来像	2	健幸でともに支え合うまち(「支え合い」の分野)		
まちづくりの基本目標	21	ともに支え合って生活するまち		
主担当部	生涯健幸部	主担当課	保険年金課	

2. 施策の方向

10年後の姿	社会保険制度への理解と協力が進み、医療保険や年金などの制度が健全に運営されることで、市民が安心して暮らしています。			
施策の方向性	1	医療費の適正化や財政基盤の強化に取り組みます		
	2	市報やホームページなどを活用し、社会保険制度の周知に努めます		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和2年度決算額
一般事務事業(国民健康保険制度)	1、2	保険年金課	24,150
税務徴収事業(国民健康保険制度)	1	保険年金課	1,759
医療費通知事業	1、2	保険年金課	1,138
特定健康診査・健康チャレンジ事業(国民健康保険制度)	1	保険年金課	75,533
保険料徴収事業(後期高齢者医療制度)	1	保険年金課	2,286
後期高齢者保健事業(後期高齢者医療制度)	1	保険年金課	94,424
総事業費(施策の合計)			199,290

4. まちづくり指標

指標情報				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度	
①	名称	ジェネリック医薬品使用率		目標値	75.0	78.2	81.0	81.7	82.0
	説明	健全な国保事業運営に必要である	単位 %	実績値	78.1	80.4			
	抽出方法	後発医薬品の数量÷(後発医薬品のある先発医薬品の数量+後発医薬品の数量)		達成率	104.1%	102.8%			
②	名称	国民健康保険税現年度収納率		目標値	91.9	94.0	94.5	95.0	95.0
	説明	健全な国保事業運営に必要である	単位 %	実績値	94.0	94.5			
	抽出方法	現年賦課分の収納額÷調定額		達成率	102.3%	100.5%			

5. 評価(令和2年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> ●被保険者間の負担の公平性の確保や一般会計から多額の法定外繰入をしなければ財政運営できないという様々な課題がある。 ●被保険者の高齢化や医療技術の高度化等による一人当たりの医療費は増加し続けており、今後もこの状況はさらに進み、これらを支える国保財政の健全な運営は大変厳しい状況にある。 ●健全な制度運営を行っていくため、レセプト等の点検や医療費通知等を実施して医療費の適正化事業を推進した。 ●ジェネリック医薬品使用率は、ジェネリック医薬品差額通知の送付や希望シールの配布等を継続実施したことにより順調に推移している。 ●社会保険制度の適正な運営のため、国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の手続き時等に各制度のパンフレットの配布や市ホームページ、市報での情報発信など、それぞれの制度の周知に努めた。 ●国民健康保険税の収納率においては、様々な収納対策による収納率向上に取り組み、国保運営に必要な財源の確保を図った。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和2年度からの変更点	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対する国保税の減免などの支援が必要となる。 ●令和2年度に団塊の世代がすべて70歳を超え、一人当たり医療費の更なる増加は必至の状況である。
-------------	--

7. 施策を進める上での課題

	施策を進める上での課題	国民健康保険の安定的・効率的な制度運営には、財政状況の改善に向けて努めるとともに、一般会計からの多額の法定外繰入を計画的・段階的に削減・解消していくことが必須である。
①	課題に対する令和4年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●国・東京都からの財政支援や低所得者対策の拡充を要望していく。 ●子育て世代の負担軽減として、多子世帯の子どもの均等割額の市独自減免を継続して実施する。 ●新型コロナウイルス感染症の影響を受けた被保険者等に対する支援について、国等の動向を注視しながら継続していく。
②	施策を進める上での課題	収納率の向上には未納者への早期対応など適切で実効性のある収納対策の実施が必要となってくる。
	課題に対する令和4年度以降の取組	保険税の収入確保を図り滞納整理を引き続き実施していく。